

営繕工事記録写真撮影基準 - 【要領】 -  
(建築工事編)

令和8年(2026年)3月

釧路市建設協議会

## 営繕工事記録写真撮影基準 目次

撮 影 基 準			・・・ P 2 ～ P 4
工事記録撮影基準	別表(1)	各工事共通	・・・ P 5 ～ P 6
	別表(2)	建築 工事	・・・ P 7 ～ P 28
	別表(2)	解体工事	・・・ P 29 ～ P 30
完成写真撮影基準	別表(3)	建築工事	・・・ P 31
別図 小黑板作成要領			・・・ P 32
デジタル工事写真の小黑板情報電子化について			・・・ P 33



## 5 工事記録写真の撮影

### 1) 撮影の方法

#### a 撮影内容

工事工程写真には、次の要素が確認できるように撮影する。

- ① 施工時期、工程、加工の前後等
- ② 施工箇所、部位等
- ③ 工事種目、分類等
- ④ 施工状況、施工内容
- ⑤ 設計及び出来形寸法、規格、表示マーク等
- ⑥ 自主検査や社内検査等で立会・確認者がいる場合、その立会、確認状況

#### b 撮影方式

##### ① 小黒板の記入

写真には、前記の a 撮影内容並びに、その他監督員と協議して必要と認められる事項について、「別図 小黒板作成要領」に示す小黒板及び必要に応じてスケール等を被写体とともに写し込む。

なお、デジタル工事写真において小黒板情報電子化を行う場合は別添「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について」によるものとする。

##### ② でき形等に係る主要寸法等の写し込み

撮影対象には必要に応じて基準線（下げ振り、水系等で示す）を設定し、でき形や規格値との誤差等を確認するためのスタッフ、スチールテープ、リボンテープ等による主要寸法の計測状況を被写体とともに写し込む。

### 2) 撮影の対象・箇所等

- a 工事着工前から完成に至るまでの工事工程全般を撮影するものとし、撮影対象等の基準は撮影基準別表(1)～(3)に示すとおりとする。  
なお、撮影基準別表(1)～(3)によることができない場合は、監督員の指示を受けて内容を変更することができる。
- b 改修、解体及び移設工事の場合は、原則、全ての施工部位・施工箇所等について着工・着手前の状況を撮影する。
- c 工事現場と違う場所(工場等)で製造・製作・加工・組立される主要部材（鉄骨・プレキャストコンクリート・建具・製缶類）の撮影にあたっては、特に上記 5-1)の漏れがないように注意すること。
- d 工事の完了写真は、完了状況全般を撮影する。  
完了状況の撮影対象基準は完成写真撮影基準別表(3)による。ただし、仮設物、人物、車両、小黒板等は撮影対象としない。
- e 次の場合は、監督員との協議により撮影の全部又は一部を省略することができる。
  - ① 品質管理に係る写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管・整備できる場合は、撮影を省略することができる。
  - ② 出来形の管理に係る写真について、完成後測定可能な箇所は、出来形管理状況の分かる写真を種類等細別毎（例：柱や梁の形状毎）に1箇所撮影し、後は省略することができる。

- ③ 施工管理の確認状況において、監督員が臨場し確認を行った箇所について、写真以外の記録により管理・整備できる場合は、種類等細別毎（例：柱や梁の形状毎）に1箇所を撮影し、後は省略することができる。

### 3) 撮影の留意事項

- a 撮影に係る工事担当者は、施工計画に基づき撮影の日時、方法、頻度等を現場内に周知し、撮影時期を逸することのないよう適切かつ確実に撮影を行う。  
工事工程上で、後日の撮り直しが困難な工事にあつては、撮影後、早急に写真の良否又は記録状態を確認する。
- b 不可視となる部位については、後日、その施工状況等が確認できるよう、十分留意して撮影し、その出来形については、寸法を計測した目盛り等が確実に読み取れるよう、特に注意する。
- c 撮影内容が複雑或いは分かりにくいと思われる場合は、必要に応じてその撮影内容に係る設計図書や施工図等を添付するなど説明を加えること。
- d 被写体のアップなど撮影の構図上、小黒板を写し込めない場合は、整理の際、写真脇に撮影内容を記載する。
- e 検査時に気象条件等のために不可視となる部位等（屋上防水、屋外給排水、外構工事等）が想定されるときは、その完了状況確認が写真のみによる場合を考慮し、完了状況写真は必要に応じて全景から詳細部分まで撮影するなど留意する。
- f 自主検査や社内検査での手直し及びその完了状況は必ず撮影し、特に完成時に不可視となる部位等については、後日、その確認が写真のみによることを考慮し、必要に応じて全景から詳細部分まで撮影漏れなどのないよう十分留意する。
- g イメージアップや創意工夫、高度技術については、その施工内容等を分かり易く撮影するものとし、整理の際、必要に応じて説明を加えること。

## 6 工事記録写真の規格等

### 撮影に使用する撮影器具等

撮影に使用する撮影器具等は次のとおりとする。ただし、これによりがたい場合は、工事監督員と協議する。

- a 原則として撮影器具はデジタルカメラとする。
- b 写真については、必要な文字、数値等の内容の判読ができる機能、精度を確保できるものとし、仕様は次に示すものとする。
- |        |                                    |
|--------|------------------------------------|
| 有効画素数  | 100万画素程度から300万画素程度                 |
| 記録画    | 1,200×900ピクセル程度から2,000×1,500ピクセル程度 |
| ファイル形式 | JPEG                               |

## 7 工事記録写真の提出

工事記録写真の提出は、釧路市電子納品工事成果書類に基づき提出するものとする。

- a 釧路市電子納品工事成果書類に基づき提出する工事写真は、撮影対象を工事監督員と協議のうえ決定するものとする。
- b 釧路市電子納品工事成果書類に基づく写真の提出については、「6 工事記録写真の規格等」に基づき撮影するものとし、撮影した工事写真を支援ソフトに取り込み写真台帳を作成するものとする。
- c 市販のソフトウェア等で作成した工事写真台帳により作成する場合は、PDFデータに限り工事写真を支援ソフトに取り込むことが可能であるが、工事監督員の承諾により提出できるものとする。

工事記録撮影基準 別表（１）

各工事共通

工種	撮影項目	撮影対象	要領及び注意事項	撮影時期
1 共通事項	敷地内外の状況	敷地の状況	着工前の工事場所の現況を各方向から撮影する。 完成写真との対比を意識した構図で撮影する。 全体が解りにくい場合は、高所からの俯瞰撮影も考慮する。	着工前
		敷地の境界	敷地の境界・標識等の状況を撮影する。	着工前
		既設・近隣建物等	既設建物、工作物等は工事中に損傷を与えた場合等の証拠となるため、必要と思われる範囲を撮影する。	着工前
	障害物	埋設物等障害物と処理	障害物の現状形状、寸法、処理状況等を撮影する。	処理前 処理後
	建設副産物・建設産業廃棄物・リサイクル	廃棄物等の状況	対象物の現況を撮影する。	搬出前
		廃棄物等の集積・分別	対象物の発生状況と敷地内での分別・収集・整理・集積状況を撮影する。	搬出前
		廃棄物等の搬出	対象物の積込・搬出・受入先の状況・荷下ろし等の状況を撮影する。 運搬車両は同一車両を撮影する。	廃棄時
		処理施設等	再資源化施設、中間処理施設、最終処分場(直接最終処分の場合)の許可看板・施設名称を撮影する。	着工前 施工中
	安全対策等	足場管理	足場の設置状況(手すり・巾木・階段・落下防止網・歩み板、積載重量の表示、通路巾の確認等)を撮影する。	設置後
		労災管理	積載重量の表示、現場内の安全通路、消火器等の設置状況、安全委員会のミーティング状況、安全パトロール、その他労働安全衛生上必要な事項を撮影する。	検査中
		交通対策	現場内外で行なっている安全対策に基づいて撮影する。(誘導員、バリケード、安全ロープ、誘導鏡、標識、進入口の清掃状況等)	検査中
		環境対策	環境関係調査の実施状況、現場及び周囲の清掃、騒音・汚濁防止対策処置等の状況を撮影する。	検査中
	仮設物・掲示物	監督員詰所等	表示板等で監督員事務所、請負人事務所が判断出来るように留意して撮影する。	設置時
		資材置場・機材置場	危険物の貯蔵の場合は、特に表示や責任者名、養生状況も含めて判読できるように撮影する。	設置時
		その他仮設物	工事用仮設電気の引込(仮設電柱の建柱・配線・電気盤)、工事用仮設給排水設備の設置、仮設便所・作業員休息所等の設置仮設物を撮影する。	設置時
		許認可標識等	建設業許可関係、建築確認済、労災関係成立、道路使用・占用許可等の表示板を撮影する。	設置時
	使用機械	機械とその仕様	機械の全景と機種・規格・仕様・能力の表示内容を撮影する。 排出ガス対策型の表示を撮影する。	施工前

	使用材料	材料とその保管状況	形状寸法のほか、F☆☆☆☆表示等の材料の規格・仕様を示す部分も撮影する。 材料の集積・保管・養生等の状況は、工事仕様書・JASS・メーカーの保管条件等の規程に合致していることに留意して撮影する。	施工前	
	数量確認	必要数量	構造材料以外で、施工後特に数量確認が困難な材料を、規格・仕様・製造者名・商標なども解るように撮影する。	施工前	
	試験	試験状況	品質管理上要求しているデータ確認のための試験であるので、撮影に試験要件の漏れがないように留意する。 試験に立会者がいる場合は必ず入れて撮影する。	試験中	
	災害及び事故	事故状況・復旧状況	災害及び事故が発生次第、速やかに撮影する。 復旧方法の検討・損害確定・補償等、後日での利用を意識して、証拠写真としての必要要件が欠けないように留意して撮影する。	処理前 処理後	
	解体及び改修・移設に伴う解体	着工前	改修前及び、解体前写真を撮るときは施工完了後に施工比較が出来るように周囲の風景等を入れて全景を撮影する。	着工前	
施工状況		人力解体・機械解体の状況が解るように撮影し、機械解体の場合は使用機械の稼働状況を撮影する。 各工種工程別に撮影し、解体材は上物と基礎の撤去状況が解るように撮影する。 解体材の分別・整理・集積・積込・搬出・受入処分場等の処理に関しては、産業廃棄物等の例に依って撮影する。	施工中		
完了		整地完了後に着工前と同一方向で撮影する。	完了時		
完 成			完成写真撮影基準 別表(3) 建築による	完成時	

工事記録撮影基準 別表(2)

建築工事

工種	撮影項目	撮影対象	要領及び注意事項	撮影時期
2 仮設工事	縄張り	全 景	監督員の確認を受けた状況を撮影する。 付属建物、浄化槽等の施設用も撮影する。	検査中
	ハンマーク (B.M)	全 景	B.Mの位置、養生及び設計GLとの関係表示を撮影する。	検査中
	遺 方	施工状況	設計GLとの関係表示、逃げ杭を撮影する。 現場専用使用する基準巻尺とそれを使用しての測定状況を撮影する。	検査中
		完 了	監督員の確認後に全景を撮影する。	完了時
	仮囲い・ ゲート	完 了	高さ・延長・工種等の設置状況をスケールとともに撮影する。 周囲との位置関係が解るように留意して全景を撮影する。 指定仮設の場合は、特に数量等の照合が可能なように撮影する。	完了時
	仮設道路	着工前	着工前の全景を撮影する。	着工前
		施工状況	仮設道路は、本工事中に原形がなくなるため、鉄板敷・砂利敷き等の各養生工程及び仕上げの内容が判断出来るように留意して撮影する。 使用機械・機材及び使用材料の種類・規格が解るように撮影する。 ランマーでの転圧作業状況を撮影する。	施工中
		出来形	砂利厚、道路幅(砂利敷幅)の出来形をロット、栈木等を用いて撮影する。	施工後
		完 了	全景を撮影する。 指定仮設の場合は、特に数量等の照合が可能なように撮影する。	完了時
	仮設排水	水替え・放流先の状況	使用機種及び台数が分かるように撮影する。 沈砂槽等の処理状況を撮影する。	施工中
3 土工事	山止め	山止め材	矢板等架設材の形状、寸法を撮影する。 組立順序、工法に注意し使用機種を入れて撮影する。 矢板等の数量が確認出来るよう留意する。	施工前
		完 了	全景を撮影する。 土圧の測定器及び測定状況(1日2~3回)を撮影する。	施工中 完了時
		抜取り	使用機種を入れて撮影する。 抜取り後の砂の充填状況を撮影する。	施工中 完了時
	根 伐	施工状況	仕様機種が判るように撮影する。	施工中
		杭間ざらい	作業状況を撮影する。	施工中
		床 づ け	ランマー等の転圧状況を撮影する。	施工中
		完 了	遺方を入れた全体を撮影する。 根伐深さを撮影する。	完了時

埋戻し (盛土)	施工状況	使用機種及び転圧状況(一定厚ごとの締め固め)を撮影する。 山砂、根伐土流用等の工法を確認できるように撮影する。(埋戻し状況、水締状況)	施工中	
	完了	全景を撮影する。	完了時	
整地	全景	全景を撮影する。	完了時	
残土処分	土砂搬出	使用機種を入れて撮影する。 残土積込と捨場荷卸は同一車両を撮影する。	施工中	
	捨場状況	周囲の風景を入れて残土搬入前、捨土均し、捨土均し後の状況を撮影する。	施工中	
	完了	捨土前と同一方向で全景を撮影する。	完了時	

工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	撮影時期
4 地業工事 (1)杭打地業	杭事業 共通	杭材運搬・搬入	荷台積載状況、杭降しの状況を撮影する。 杭頭に「通し番号」を記入し、種別ごと（規格、径、長さ、継杭別）に本数が確認できるように撮影する。	搬入時
		杭材集積	集積用の支持角材の水平設置を撮影する。 種別ごとに集積した状況を撮影する。	搬入時
		杭材料・規格	杭メーカー、製造年月日、寸法、JIS 表示 杭種、杭径、杭長、杭先形状（閉塞、ペンシル等）を撮影する。 杭径はロットを使用する。 杭長は1 m毎（杭先端を0とし、杭頭を全長とする）に目盛をつけて撮影する。全本数を撮影する。	搬入時
		使用機械	機械（杭打機・発電機・プラント・セメントサイロ等）搬入と全景、能力・規格の表示内容を撮影する。	設置時
		アースオーガー	オーガードリルの径、長さを撮影する。 掘削長さをスプレーでオーガーに表示し、スケールを当てて撮影する。	設置時
		やっこ	径・長さを撮影する。	設置時
		杭芯の確認	芯出し状況、通り芯計測状況を撮影する。監督員の検査を受けた後全景を撮影する。	施工中
		継手溶接材	商標を撮影する。	施工中
		継手の施工	施工状況を撮影する。 溶接接手の場合は杭の位置、番号、上・中・下杭、溶接層別、溶接方法が解るように撮影する。 溶接の仮付け又は二層目の本付け後、スラグの除去及び錆止め塗布をした状況を撮影する。 機械式接手の場合は杭の位置、番号、上・中・下杭、各工法に定められた施工に基づき、ガイドピンやリングの取付状況、トルクチェック・はめ込み代の測定状況を撮影する。	施工中
		杭の芯ずれ測定	杭の芯ずれの測定状況と、全本数の測定結果（直交2方向）を撮影する。 通り墨が薄く判別しにくい場合は、通り墨全体写真と各杭頭部の拡大写真とを併用する。	測定時
		芯ずれ補強	補強方法及び施工状況を撮影する。 ベースごとに補強状況が解るようにスケールをあて撮影する。	施工中
		杭頭補強	補強を要する箇所を全て撮影する。 鉄筋径・本数・長さ・フープ径等が解るように撮影する。	施工中
		キャップ	杭穴のキャップの状態を撮影する。	施工中
	全 景	打設時の本杭は全本数を撮影とする。 完了状況を捨コン打設後墨出しをし、各通りごとに全本数がわかるように撮影する。	完了時	
打込み杭 (打撃工法)	養生	騒音防止等の特記で指定がある場合は、その養生の状況を確認できるように撮影する。 周辺の騒音、振動の測定状態を撮影する。	施工前	

		試験杭	設計図書の深さ及び沈下量を得るまで打込む。 杭に表示した目盛又は数字を撮影する。	施工中	
		建 込	直角2方向から、トランシット等で垂直確認している 状況を撮影する。	確認時	
		やっところ	施工状況を撮影する。	施工中	
		記 録	最終貫入量及びリバウンド量の測定状況を撮影する。 全本数を記録する。	測定時	
		杭頭切断	パイルカッターによる研りの施工状況とカットライン より10cm程度の上部を撮影する。	施工中	
		杭頭切揃	切揃後全景を撮影する。	施工後	
	埋込杭 (プレ-リッ グ・中堀 り工法)	掘削状況	直角2方向から、トランシット等で垂直確認している 状況を撮影する。	確認時	
		掘削残土	オーガーの残土搬出又は敷均し状況を撮影する。	施工中	
		試験掘削・ 支持層確認	支持層採取状況を撮影する。 採取サンプルを地盤調査資料と対比した状態で撮影す る	施工中 確認時	
		試験杭・本 杭建込	全本数を撮影する。	確認時	
		支持層の確 認	トラブル時の対処として、次のとおり写真撮影する。 ・アナログ電流計の場合は電流計記録紙を撮影 ・積分電流計の場合はモニタ画面を撮影	確認時	
		根固め液・ 杭周固定液 材料	材料・規格が判別できるように撮影する。 使用セメント量が解るように撮影する。	施工中	
		液の注入	セメントミルクの注入量と注入圧力が解るように撮影 する。	施工中	
		液のサン プル採取	採取箇所（杭番号）が解るように採取の状況を撮影す る。 サンプルの保管状況を撮影する。	施工中	
		汚泥処理	汚泥の発生状況について撮影する。 産業廃棄物処理と照合できるように留意して撮影す る。	施工中	
		サンプルの 強度試験	圧縮試験の撮影は試験体1本毎に写す。 (立会人と氏名を必ず入れる。)	施工中	
(2) 切込・砂 利地業	締め固め 施工状況	施工状況	締め固めの機種と回数が解るように撮影する。	施工中	
		出 来 形	厚さの設計値と実測値が解るように撮影する。	施工中	
		完 了	全景を撮影する。	完了時	
(3) 捨てコン クリート	施工状況	型枠取付	高さ・寸法を撮影する。	施工中	
		出 来 形	厚さ、幅についてロッド等を使用して撮影する。	完了時	
		完 了	墨出しし、通り芯が解るようにして、全景を撮影 する。	完了時	
(4) 床下防 湿層	防 湿 シート	材 料	シート包装紙の材料規格を撮影する。	搬入時	
		施工状況	重ね代が解るように撮影する。 基礎梁などで呑み込み深さが明確になるように撮影 する。	施工中	

(5) ラップル コンクリ ート	施工状況	型枠取付	高さ・寸法を撮影する。	施工中	
		出来形	厚さ、幅をロット等を使用して撮影する。	施工後	
		完了	全景を撮影する。	完了時	

工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	撮影時期
5 鉄筋工事	共 通	材料の表示	種別ごとのラベルプレートを撮影する。(JIS表示、製造番号、寸法、工場が判ること) 工場加工の場合は、製造所の判別用ロールマークも撮影する。	搬入時
		材料の保管	種別ごとの保管と養生の状況を撮影する。 工場加工の場合は、工場の保管状況も撮影する。	搬入時
		配 筋	寸法、断面、配筋の異なるもの全てを対象とし、工種(施工部位等)ごとの施工状況と組立完了全景を撮影する。 継手、定着(位置・長さ)、フック、結束状態、スペーサー等の状態を撮影する。 間隔・長さ等計測状況は全てスケール等を一緒に写し込む。 色つきマグネット等を鉄筋に付け、径・方向別に識別できるようにして撮影する。 監督員、現場代理人、社内検査員等の検査・立会状況を撮影する。特に試験成績を要するものは必須なので留意する。	計測時
		補強筋	貫通部・開口部廻り、出隅・入隅等に設ける補強筋の配筋状況(径・本数・長さ)を撮影する。	計測時
		圧 接	圧接端面の処理状況を撮影する。 圧接状況を撮影する。 圧接部のふくらみの直径及び長さ、形状、圧接面、鉄筋中心軸の偏心等に注意して撮影する。	施工中
			圧接技能有資格者が判別できるように撮影する。	施工中
		試 験	超音波探傷試験の探傷器具及び探傷の状況を撮影する。 超音波探傷試験の有資格者が判別できるように撮影する。 抜き取り試験では、試験の前後の状況等(試験片抜き取り・引っ張り曲げ試験・再圧接)が比較出来るように撮影する。	施工中
		溶接金網	径及び完了全景を撮影する。	完了時
		ベース	主筋・ダイヤ筋(配筋間隔)・フック等の配筋状況を撮影する。 ベース筋のみ単独に種類別に撮影する。	計測時
	基 礎	地 中 梁	主筋本数・間隔の確認(端部、中央部)、スターラップ、幅止め筋の配筋状況、フーチングとの取り合い等を撮影する。	計測時
		布 筋	縦、横筋(配筋間隔)の配筋状況を撮影する。	計測時
		柱 筋	主筋(径・本数・配筋間隔)、フープ筋、ダイヤ筋の配筋状況、主筋の折曲げ・継手位置、柱脚定着長さ、頭部処理等を撮影する。 対面撮影やマグネット等の高さをずらして撮影するなど、各面の配筋状況がわかるように撮影すること。	計測時

躯体	梁筋	主筋（端部、中央部）の径・本数・間隔・定着長さ、 スタップ、幅止め筋（配筋間隔）、吊上げ筋等を撮影 する。 撮影は、梁落としをする前に撮影するなど、梁底の配 筋状況がわかるように撮影する。	計測時	
	壁筋	縦・横筋及び幅止め筋の径・配筋間隔を撮影する。	計測時	
	床版筋	縦・横筋及び上・下筋の径・配筋間隔を撮影する。 各設備の配管、スリーブ等取付後の全景を撮影する。	計測時	
	階段	流し筋・段鼻筋・稲妻筋及び踊り場の配筋、階段筋の 呑み込み、スラブとの取り合い等を撮影する。	計測時	
	屋上	床版は躯体と同じ。 ドレン廻り、パラペット、庇、煙突の配筋状況を撮影 する。	計測時	

工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	撮影時期		
6 ｺﾝｸﾘｰﾄ 工事 (1) 現場施工 ｺﾝｸﾘｰﾄ	型 枠	材 料	型枠資材の材料規格を撮影する。 資材搬入後の集荷状況を撮影する。 剥離材及び塗布状況を撮影する。	搬入時		
		墨 出 し	墨出しの状況と完了後の全景を撮影する。	完了時		
		建 込 み	柱枠、壁枠、床版枠、階段枠、煙突枠等の締付け状況を撮影する。 垂直、水平の確認作業の状況（下げ振り、トランシット等）を撮影する。 断熱材打ち込みの場合は、規格・厚さ・設置位置・設置寸法が解るように撮影する。	施工中		
		完 了	枠幅寸法、建入寸法、全長を撮影する。 通り検査は、通り芯が判明しやすいように留意して撮影する。 支保工設置後の全景を撮影する。	完了時		
	打 設		取 外 し	作業状況を撮影する。	完了時	
			鉄筋の養生	ノロ防止・打継ぎ面の養生・道板足場の設置状況などを撮影する。	打設前	
			型枠の養生	打設前の清掃及び散水状況を撮影する。	打設前	
			試し練り	現場練りコンクリートの場合は、材料及び試し練りの実施状況を撮影する。	試験中	
			テストピース	テストピースの採取及びスランプ値等の測定状況を撮影する。 テストピースの養生・保管の状況を撮影する。 テストピースのマーキング状況及び圧縮強度試験時のマーキングの照合状況を撮影する。	打設前	
			塩分試験	生コンから採取の状況を撮影する。 特記に指定された試験方法が確認できるように撮影する。 測定結果の一覧を撮影する。	打設前	
			強度試験	圧縮試験の撮影は試験体1本毎に写す。 (立会人の立会のもと、氏名を記入する)	試験中	
			打設状況	ミキサー車、ポンプ車、バイブレーターの使用を含めた全体の打設状況を撮影する。 タンピング・鍍押さえの状況を撮影する。 打設仕上がり面の平坦確認状況を撮影する。 打設後の養生を撮影する。	施工中	
	脱型後		打 継 ぎ	打継ぎ位置及び打継ぎ面の処理を撮影する。	完了時	
			補 修	穴埋め、錆止め処理状況を撮影する。	完了時	
		出 来 形	各部位の高さ・幅・厚さ（開口部木口面の計測含む）・断熱材の厚さを撮影する。完了全景を撮影する。	完了時		

(2) 工場製作 コンクリート (PC・PS)	製 作	型枠の検査	型枠製作状況及び型枠寸法計測を撮影する。	製作中	
		配筋状況	5 鉄筋工事の配筋に準ずる。	製作中	
		取付金物	取付金物の規格・商標等を撮影する。 部材取付金物の型枠へのセッティング状況を撮影する。	製作中	
		コンクリート・グラウト	品質管理上要求されている試験等を撮影する。	試験中	
		製作完了	監督員、工事監理者、現場代理人、社内検査員等の製作版の検査・立会状況を撮影する。	検査時	
	取 付	施工状況	躯体と取付金物との間隔、版相互の間隔が許容範囲内であることが確認できるように撮影する。 取付金物の締付け強度が確認できるように撮影する。 目地・バックアップ材・シーリング材の施工状況は、10 防水工事に準じて撮影する。	施工中	
	その他	プレストレスの導入状況	プレストレスコンクリート版にあっては、プレストレス導入状況が解るように、設計値と実測値の比較、版の短縮量・縦横のたわみ量など、制作時及び取付時のそれぞれを、機械の測定値を含めて撮影する。	計測時	

工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	撮影時期	
7 鉄骨工事	工場加工	材 料	工場での鋼材受入れ検査状況（材質・板厚・幅・長さ・製造番号等）を撮影する。 溶接棒等の使用材料の品種、規格等を撮影する。	搬入時	
		現寸検査	現寸検査の状況、テープ合わせ等の状況を撮影する。	検査時	
		加工・溶接状況	開先の加工・測定作業、溶接作業、仕上げ作業を撮影する。 回転ポジショナーなどの器具を使用しての溶接作業等は器具も含めて撮影する。	施工中	
		加工完了	仕上げ完了後の鋼材の製品検査を撮影する。	検査時	
		超音波探傷試験	超音波探傷試験の探傷器具及び探傷の状況を撮影する。 試験の有資格者が判別できるように撮影する。	試験中	
		スタッドボルト	径・長さとの溶接機の電流・電圧の確認状況を撮影する。	検査時	
	錆止め	材 料	塗料の規格、商標等を撮影する。（工場、現場毎）	搬入時	
		施工状況	工程毎の施工状況及び使用した数量がわかるように撮影する。（工場、現場毎） 現場でのタッチアップと2回目塗装の判別が出来るように撮影する。	施工中	
	アンカーボルト	材 料	長さ、径を種別毎に撮影する。	搬入時	
		セット状況	ねじ山の保護及びセット状況を撮影する。	施工中	
	柱底ならし	施工状況	無収縮モルタルの材料・配合を撮影する。 ねじ山の出、二重ナット、座金等の取付状況を撮影する。 無収縮モルタルの柱底ならし（寸法・厚）の状況を撮影する。	施工中	
	鉄骨建方	搬入状況	現場での仮置きと養生の状態を撮影する。	施工中	
		建方状況	建方の機械を撮影する。 建方及び計測の状況を撮影する。 建方は段階及び全体の状況が解るように撮影する。	検査時	
		現場溶接	現場溶接する箇所の開先形状を撮影する。 溶接棒・溶接機の規格（電流・電圧）を撮影する。 溶接の状況を撮影する。	施工中	
		建方完了	全景を撮影する。	完了時	
	高力ボルト	材 料	規格、商標等が解るように撮影する。 締付機器を撮影する。	搬入時	
		施工状況	錆の状況、摩擦面の処理を撮影する。 予備締め、本締め、締付トルク値、マーキングの状況を撮影する。	組立・締付け時	
コンクリート埋込	埋込部分の状況	鉄骨・鉄筋の埋込部の組立状況を撮影する。	組立時		
溶接部等試験	超音波探傷試験・抜取引張試験	機材及び試験状況及び監督員又は関係職員の立会の状況を撮影する。	試験時		
耐火被覆	材 料	規格・認定番号等が解るように撮影する。	搬入時		

	吹付け状況	工法（湿式・半乾式）と耐火性能（時間）が解るよう に撮影する。	施工中	
	こて押さえ	押さえ回数が解るよう に撮影する。	施工中	
	試料採取	かさ比重資料採取の状況 を撮影する。	施工中	
	引張試験	耐火性能別に撮影する。	試験中	
	厚さ測定	厚さ確認ピンは厚さ別に色 変えしてスケールとともに 撮影し、確認ピンを差し込 んだ測定状況を撮影する。	計測時	
	完了状況	全景を撮影する。	完了時	

工種	撮影項目	撮影対象	要領及び注意事項	撮影時期		
8	コンクリートブロック及びパネル工事 (1) ブロック工事	コンクリートブロック	材 料	寸法、規格、商標等を入れて撮影する。 屋外に保管の場合は、養生状況を撮影する。	搬入時	
		遣り方	施工状況	縦遣り方の状況を撮影する。	施工中	
		ブロック積	施工状況	モルタルの充填状況、配筋(壁端部は必須)及び継手の状況を撮影する。 鉄筋上下の溶接終了後、溶接長さと同隔を撮影する。 一日の積上げ高さが許容値内であることを示すため、一日の積上げ開始前と終了の高さが判読できるように撮影する。	施工中	
			完了状況	全景を撮影する。	完了時	
	まぐさ	施工状況	型枠、配筋の状況を撮影する。(鉄筋、コンクリート工事の要領による)	施工中		
	(2) パネル工事	ハ° 礼 (ALC・ 押出成形セ ト板等)	集積状況	屋外に保管の場合は、養生を撮影する。	搬入時	
			ハ° 礼材料	寸法、規格、商標等を入れて撮影する。	搬入時	
			副材料	目地・接着材、取付金物を撮影する。	施工中	
			ハ° 礼建込	取付金物の設置状況(間隔)を撮影する。 目地用鉄筋の設置状況を撮影する。 ハ° 礼の建込は、取付金物との取付け状況が解るように撮影する。 建て入れの寸法測定状況を撮影する。 目地の施工状況を撮影する。	施工中	
			完了状況	全景を撮影する。	完了時	
9	断熱工事	共 通	材 料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	搬入時	
			施工状況	柱・梁・壁・床版等の施工状況及び・規格・厚さを部位別の要求仕様と対比して撮影する。	施工中	
			防湿層	断熱材に併せて防湿層を施工する場合は、材料・重ね代・留め方法が解るように撮影する。	施工中	
			補修状況	穴や設備関係の取合部分等の補修状況を撮影する。	施工中	
		成形断熱材 (発泡グラスチック保温材・繊維系保温材)	施工状況	土間コンクリートの敷込みでは、敷込み前の床の状況も撮影する。 打ち込み工法では、型枠への取付状況及びノ口防止方法を撮影する。 コンクリート等への後張り工法では、接着面の処理と接着剤の塗布状況を撮影する。 外断熱工法の場合は、外装材・断熱材・躯体相互の取付状況が解るように撮影する。	施工中	
		現場発泡断熱材(吹付け硬質ウレタンフォーム)	施工状況	使用機器類と発泡前の養生を撮影する。 長さごとの色別計測ピンを撮影する。 発泡状況と発泡厚の計測状況を撮影する。	施工中	
現場吹付け断熱材(繊維系保温材)	施工状況	使用機器類と吹付け前の養生を撮影する。 吹付け状況を撮影する。 吹付け厚の計測を撮影する。	施工中			

工種	撮影項目	撮影対象	要領及び注意事項	撮影時期		
10 防水工事	共通	施工状況	各層毎の施工状況を工程に従い何層の防水工事を施工したか判断出来るようにし、各工程ごとの完了全景を撮影する。 材料毎の継手重ね長さ、及び塗布状況を撮影する	施工中		
		防水層 下地	下地の仕上り状況を撮影する。 下地の乾燥状態（含水試験状況）を撮影する。	施工中		
	(1) アスファルト防水	防水層	材 料	使用材料（プライマー・アスファルト・アスファルトフイグ・断熱材等）の品種、規格、商標等を撮影する。	搬入時	
			施工状況	プライマー塗を撮影する。 アスファルトフイグの張付状況（下地打継面の処理・重ね代・層数・立ち上がり処理・開口廻り増張り・アスファルト塗り回数）を撮影する。 断熱材の敷込み状況を撮影する。	施工中	
		保護層 (防水層押さえ)	材 料	ポリエチレンフィルムの規格、商標等を入れて撮影する。	搬入時	
			施工状況	重ね長さ等の施工状況を撮影する。 保護モルタルの施工状況、及び厚さを撮影する。	施工中	
		(伸縮目地)	材 料	寸法、規格、商標等を入れて撮影する。	搬入時	
			施工状況	目地の施工状況(間隔・厚さ)を撮影する。	施工中	
	(押えコンクリート)	材 料	溶接金網の寸法、規格等を撮影する。	搬入時		
		施工状況	溶接金網の取付及び重ね長さの状況を撮影する。 立上り部分の配筋状況及び押えコンクリートの打設状況を撮影する。 金ゴテ押えの工程の施工状況を撮影する。	施工中		
	(2) 合成高分子フイグ防水	防水層	材 料	使用材料（シート・プライマー・接着剤等）の品種、規格、商標等を撮影する。	搬入時	
			施工状況	プライマー塗を撮影する。 接着剤塗布を撮影する。 アスファルトフイグの張付状況（下地打継面の処理・重ね代・層数・立ち上がり処理・開口廻り増張り）断熱材の敷込み状況を撮影する。	施工中	
	(3) 塗膜防水	防水層	材 料	使用材料（主材・プライマー・通気緩衝シート・補強布・接着剤等）の品種、規格、商標等を撮影する。	搬入時	
			施工状況	採用の塗布工法とその施工順・内容が明確になるように撮影する。	施工中	
(4) シーリング	シーリング	材 料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	搬入時		
		施工状況	下地処理、シーリング材の練り混ぜ、接着材試験を撮影する。 プライマー塗布、バックアップ材設置、シーリング材の充填状況を撮影する。	施工中 試験時		
11 石工事	石 材	材 料	寸法、形状等を撮影する。	搬入時		
		取付金物	鉄筋、緊結線、及び引き金物等の施工状況を撮影する。	施工中		

工種	撮影項目	撮影対象	要領及び注意事項	撮影時期	
12	タイル工事	タイル張り	取付状況	取付及び裏込モルタルの充填状況を撮影する。	施工中
			材料	品質、規格、商標、寸法・形状（裏面含む）等を入れて撮影する。	搬入時
			施工状況	各工法の工程毎の施工状況の撮影で、特に下地モルタルの施工・タイル張付け施工・タイル引付け金物の施工・伸縮目地詰め施工に留意する。	施工中
			たたき検査	検査の状況を撮影する。	検査時
			引張接着試験	試験機材、サンプル抜取状況、試験状況及び監督員又は関係職員の立会の状況を撮影する。（3個以上100㎡に1個）	検査時
完了状況	全景を撮影する。	完了時			
13	木工事	共通	材料	規格、等級、寸法等を入れて撮影する。	搬入時
			含水率測定	測定の状況を撮影する。	搬入時
		防腐剤	防腐剤	規格、商標等を入れて撮影する。	搬入時
			防腐処理	塗布状況（コンクリート等の接着面を木材取付前に防腐剤を塗布した状況）を撮影する。	施工中
		建方	軸組、小屋組、床組	各工法の継手、仕口、組立て状況を撮影する。	施工中
			構造金物の取付状況	かすがい及びホールダウン金物等金物取付完了後の状況を撮影する。	施工中
			野タルキ及び野地板の施工状況	乱継の状況、根太、野地タルキ等の間隔の状況を撮影する。	施工中
		完了状況	全景を撮影する。	完了時	
		窓出入口枠	取付状況	防腐剤、補強金物、支持金物、飼いものパッキンの状況を撮影する。	施工中
		壁下地組	施工状況	下地材の寸法及び間隔、釘打の状況を撮影する。 全景を撮影する。	施工中
14	(1) 長尺金属板葺	金属板	材料	材質、種別、規格、商標等を入れて撮影する。	搬入時
		防水層	施工状況	透過防湿シート、ルーフィングは重ね代が確認できるように撮影する。	施工中
		下葺き	施工状況	重ね長さ、留付状況を撮影する。	施工中
			完了状況	全景を撮影する。	完了時
		葺き方	施工状況	吊り子の位置、とめ方、間隔、巻はぜ締付、軒先、棟修めの状況を撮影する。	施工中
	完了状況		全景を撮影する。	完了時	
	(2) 折板葺	折板	材料	板厚、形状寸法、商標等を撮影する。 タイトルームの厚さ幅の寸法、商標を撮影する。	搬入時
施工状況			タイトルームの取付状況（溶接及び錆止め又はボルト締め） 折板の施工状況面戸板の取付状況ボルトの締付状況（ボルト間隔 600 mm以下）	施工中	
完了状況			全景を撮影する。	完了時	

工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	撮影時期	
15 金属工事	金属製品	材 料	製品の形状、寸法等を撮影する。 裏面の防錆処理及び結露防止処理状況を撮影する。	搬入時 施工中	
		裏込モルタル	モルタルの充填状況を撮影する。	施工中	
		取付状況	取付アンカーの状況、間隔を撮影する。	施工中	
		完了状況	全景を撮影する。	完了時	
	軽量鉄骨 (天井・壁下地)	材 料	寸法、規格等を撮影する。	搬入時	
		吊ボルト ・野縁	野縁の間隔、吊ボルトの振止め補強の状況を撮影する。	施工中	
		間仕切壁	スットの間隔、振止めの状況を撮影する。	施工中	
		開口部	開口部の補強の状況を撮影する。	施工中	
		溶接部	錆止め塗布状況を撮影する。	施工中	
		完了状況	全景を撮影する。	完了時	
		16 左官工事	共 通	材 料	混和材、接着材等の使用材料の品種、規格、商標等を入れて撮影する。
	調 合			調合（容積比）の状況を撮影する。	施工中
	下地処理			清掃、下地処理、水洗い等を撮影する。	施工中
補 修	ひび割れ箇所等の補修状況を撮影する。			施工中	
養 生	施工後の養生状況を撮影する。			施工中	
出来型 確認	塗厚、水勾配の確認状況を撮影する。			施工後	
完了状況	各工程ごとの全景を撮影する。			完了時	
(珪砂塗)	木下地の 施工		ラス及びアスファルトフェルト張り等の状況を撮影する。	施工中	
	壁 塗		下塗り(金ぐしをかけ乾燥した状況)、中塗り(定規スリの状況)、上塗り(金ゴテ押えの状況)を撮影する。	施工中	
	床 塗		モルタルの圧送、モルタル塗込み、タッピング定規均し、金ゴテ押えの状況を撮影する。	施工中	
	均し珪砂		塗回数と塗厚が解るように撮影する。	施工中	
	珪砂充填		開口部廻りの充填状況及び無収縮モルタルの使用状況を撮影する。	施工中	
	(セルフレベル 材塗)		施工状況	セルフレベル機材搬入と施工状況を撮影する。 打継ぎ部の処理状況に注意して撮影する。	施工中
レベル 試験			セルフレベルングフロー試験を撮影する。	試験時	
(仕上塗材仕 上げ)	施工状況		仕上げ塗材の種類、仕上げの形状及び工法が明確になるように撮影する。 施工中の全工程が明確になるように撮影する。 吹付け工法の場合は、施工順の吹付け回数と吹付け量が明確になるように撮影する。	施工中	

工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	撮影時期
17 建具工事	木製建具	材 料	樹種・品質・規格・商標・含水率等の検収状況(建具金物・塗料含む)を撮影する。 材料の保管状況を撮影する。	搬入時
		寸法測定	建具の必要寸法の計測状況を撮影する。	施工中
		取 付	取付状況を撮影する。 取付後の寸法計測状況を撮影する。	施工中
	樹脂製 建具	材 料	品質・規格・商標等の検収状況(建具金物含む)を撮影する。 材料の加工前の断面も撮影する。 材料の保管状況を撮影する。	搬入時
		寸法測定	建具の必要寸法の計測状況を撮影する。	施工中
		取 付	取付状況を撮影する。 取付後の寸法計測状況を撮影する。	施工中
	金属建具 (アルミニウム・ ステンレス・ 鋼製建具・ 自動ドア・ シャッター)	材 料	品質・規格・商標等の検収状況(建具金物・塗料含む)を撮影する。 材料の加工前の断面も撮影する。 材料の保管状況を撮影する。	搬入時
		取 付	アンカーの間隔、溶接等の状況を撮影する。 枠廻り外側詰め施工状況を撮影する。 建具取付状況を撮影する。	施工中
	ガラス工事	材 料	品質・規格・商標等の検収状況を撮影する。 ガラス留め材(シーリング材・ガスケット・バックアップ材)を撮影する。	搬入時
		取 付	取付状況を撮影する。	施工中
18 塗装工事	共 通	材 料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。	搬入時
		数 量	入荷数量と残量を撮影する。	搬入時
		下地処理	清掃、下地処理(下地の違いごとの下地処理の状況、素地ごしらの塗り回数が解るように)、養生を撮影する。	施工中
		完了状況	全景を撮影する。	完了時
	塗り工法	施工状況	ローラー塗り及びはけ塗りの施工状況を撮影する。 各塗装(錆止め、SOP、DP、EP、NAD等)の種類による各工程毎の施工状況(塗り回数が解るように)を撮影する。	施工中
	吹付け工法	施工状況	吹付けの施工状況(器具含む)を撮影する。 各塗装の種類による各工程毎の施工状況(塗り回数が解るように)を撮影する。	施工中
		完了状況	全景を撮影する。	完了時

工種	撮影項目	撮影対象	要領及び注意事項	撮影時期		
19 内装工事	共通	材 料	品種、規格、商標等を入れて撮影する。 接着剤、留め器具を撮影する。	搬入時		
		完了状況	全景を撮影する。	完了時		
	(1) 合成樹脂 製床	シート張り	施工状況	下地の処理(乾燥状況)を撮影する。 接着剤の塗布状況を撮影する。 張付状況を撮影する。 溶接の場合は、溶接器・溶接温度が解るようにし、溶接後のカット状況も撮影する。	施工中	
		タイル張り	施工状況	下地の処理(乾燥状況)を撮影する。 張付状況を撮影する。 12タイル工事に順ずる。	施工中	
		合成樹脂 塗床	施工状況	プライマー塗、下地の処理(調整・素地ごしらえ)状況を撮影する。 剤の練り混ぜ状況を撮影する。 各塗工法の種類による各工程毎の施工状況(塗り回数 が解るように)を撮影する。	施工中	
		(2) フローリ ング床張 り	釘留め 工法	施工状況	隠し釘及び接着剤の塗布を撮影する。 下張りがある場合は、上張りとの継ぎ手位置が同じで ないことを確認できるように撮影する。	施工中
	接着工法		施工状況	接着剤の練り混ぜ状況を撮影する。 接着剤の塗布、張り状況を撮影する。	施工中	
	(3) 壁(天井) ボード張 り	張り工 (下地組)	施工状況	中間・端部のビス間隔(下張り含む)を撮影する。 下張りがある場合は、上張りとの継ぎ手位置が同じで ないことを確認できるように撮影する。 上張りが接着工法の場合は、接着剤の塗布状況(間隔 等)を撮影する。 目透しの場合は、目透し材、間隔を撮影する。 遮音性能が要求されている場合は、遮音材の施工状況 と遮音壁の断面・仕様が解るように撮影する。	施工中	
		直張り	施工状況	張付用接着剤の塗布状況(間隔等)を撮影する。 ボードの継目処理状況を撮影する。	施工中	
	(4) 壁(天井) 壁紙・ク ロス張り	張り工法 (下地組)	下地処理	清掃、パテ処理、養生を撮影する。	施工中	
施工状況			接着剤の塗布、張り状況を撮影する。 張り方向・張り順に注意して撮影する。	施工中		
(5) 壁(天井) 吸音材張 り	直張り	施工状況	ピンの材質・間隔が解るように撮影する。	施工中		

工種	撮影項目	撮影対象	要領及び注意事項	撮影時期		
20	ユニット 工事及び その他雑 工事	(1)	材 料	品質、規格、寸法・形状等を入れて撮影する。	搬入時	
			施工状況	組立及び取付状況を撮影する。	施工中	
		(2)	材 料	品質、規格、寸法・形状等を入れて撮影する。	搬入時	
			施工状況	組立及び取付(固定・補強)状況を撮影する。	施工中	
		(3)	材 料	品質、規格、寸法・形状等を入れて撮影する。	搬入時	
			施工状況	組立及び取付状況を撮影する。	施工中	
		(4)	施工状況	アンカーの取付状況を撮影する。	施工中	
		(5)	施工状況	金物の取付状況を撮影する。	施工中	
		(6)	材 料	品質、規格、寸法・形状等を入れて撮影する。	搬入時	
			施工状況	取付状況を撮影する。	施工中	
		(7)	施工状況	裏込は、材料・厚さを撮影する。 基礎から躯体寸法計測までの各工事は、鉄筋コンクリート工事に準じて撮影する。	施工中	
			出来形	各工事段階での撮影は、擁壁断面の異なるごとに行う。	施工中	
		(8)	施工状況	床づけ、締固めの状況を撮影する。	施工中	
			完了状況	幅及び厚さの状況を撮影する。	完了時	
	(9)	材 料	寸法、品種、規格等を入れて撮影する。	搬入時		
		施工状況	切込砂利、コンクリート等の寸法及び縁石の取付状況を撮影する。	施工中		
		完了状況	全景を撮影する。	完了時		
	(10)	施工状況	深さ・基礎の状態を撮影する。 必要に応じて、他の工事の撮影上の注意事項を参照する。	施工中		
		出来形	全景を撮影する。	完了時		
21	排水工事	材 料	寸法、品種、規格等を入れて撮影する。	搬入時		
		施工状況	管の据付けは勾配・高さが解るように撮影する。 舁類は、基礎の状態・深さ・接続面の処理が解るように撮影する。	施工中		
		出来形	全景を撮影する。	完了時		

工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	撮影時期	
22 舗装工事	アスファルト 舗装	路 床	転圧の段階ごとに撮影する。	施工中	
		路 盤	試掘測定は路盤転圧確認後に撮影する。	施工中	
		出来形	表層・基層の転圧が確認できるように撮影する。 コアは採取の状況も撮影する。	施工中 完了時	
23 植栽工事		高木類	植穴形状・根巻き形状の計測は種類ごとに撮影する。	搬入時	
		中木類	種類又は植群ごとに植込みの施工状況を撮影する。	施工中	
		株物・芝 類	植込み・貼付の施工状況を撮影する。	施工中	
		客 土	植群ごとの施工状況を撮影する。	施工中	
		土質改良	//	施工中	
		施肥	//	施工中	

工 種	撮影項目	撮影対象	要 領 及 び 注 意 事 項	撮影時期	
24 改修工事 共通事項	改修前の 状況	改修部分	着工前の改修部分の現況を各方向から撮影する。 完成写真との対比を意識した構図で撮影する。  全体が分かりにくい場合は、高所からの俯瞰 <sup>みかん</sup> 撮影、遠景による撮影を考慮する。	着工前	
		施工数量 調査	施工数量の調査状況を撮影する。	調査中	
	その他		別表(1)各工事共通による。	着工前 検査中等	
仮設工事	既存部分	養 生	既存部分と施工部分との養生施工の状況について撮影する。	施工中	
	その他		別表(2)建築工事 2 仮設工事による。	施工中等	
防水改修 工事	既存防水層	撤 去	撤去、既存下地の状況を撮影する。	施工中	
	防水工法	施工状況	各工程ごとに完了後の全景を撮影する。	施工中	
	シーリング 改修工法	材 料	可使用期間が判る標記を撮影する。	搬入時	
		施工状況	下地処理、シーリング材の練り混ぜ、接着材試験を撮影する。 プライマー塗布、バックアップ材設置、シーリング材の充填状況を撮影する。	施工中 試験時	
	とい改修 工法	施工状況	工程ごとに施工したか判断できるよう、各工程ごとに完了後の全景を撮影する。	施工中	
	アルミニウム ム笠木改修 工法	施工状況	工程ごとに施工したか判断できるよう、各工程ごとに完了後の全景を撮影する。	施工中	
	その他		別表(2)建築工事 10 防水工事 14 屋根工事 15 金属工事による。	施工中等	
外壁改修 工事	充填材料	材 料	可使用期間が判る標記を撮影する。	搬入時	
	樹脂注入 工法	注入状況	コア抜取りによるひび割れ部分の注入状況の検査について撮影する。	検査時	
	充填工法	充填状況	充填剤の仕上状態及び硬化状態の検査について撮影する。	検査時	
	その他の 注入工法	注入状況	材料の注入状況、固着状況検査について撮影する。	施工中 検査時	
	タイル張替 工法	接着力 試験	打診、接着力試験の状況を撮影する。	試験時	
	塗装仕上げ 外壁改修 工法	施工状況	既存塗膜等の除去状況を撮影する。	施工中	
	その他		別表(2)建築工事 6 コンクリート工事、12 タイル工事 16 左官工事、18 塗装工事による。	施工中等	

建具改修工事	かぶせ工法	施工状況	既存枠、あと施工アンカーの施工状況を撮影する	施工中	
	撤去工法	施工状況	既存枠撤去、あと施工アンカーの施工状況を撮影する。	施工中	
	その他	施工状況	別表(2)建築工事 17 建具工事による。	施工中等	
内装改修工事	軽量鉄骨天井、下地 軽量鉄骨壁 下地	材 料	既存埋込みインサート引抜き試験の状況を撮影する。	試験時	
	既存の壁、床、天井	施工状況	撤去及び下地処理の状況を撮影する。	施工中	
	有害物質を含む 材料処理	施工状況	撤去及び下地処理の状況を撮影する。	施工中	
	その他		別表(2)建築工事 12 タイル工事、13 木工事、16 左官工事、18 塗装工事、19 内装工事による。	施工中等	
塗装改修工事	既存塗膜の処理	施工状況	除却及び下地処理状況を撮影する。	施工中	
	その他		別表(2)建築工事 18 塗装工事による。	施工中等	
耐震改修工事	材料	耐震改修にかかる材料	各種耐震改修にかかる材料については、品質、規格、商標を入れて撮影する。	施工中	
	あと施工アンカー	性能試験	施工状況、性能確認試験の状況を撮影する。	施工中 試験時	
	グラウト工事	施工状況	圧入準備の状況を撮影する。		
	柱補強工事	施工状況	鋼板等の組立、検査状況を撮影する。	施工中 計測時	
	その他		別表(2)建築工事 5 鉄筋工事、6 コンクリート工事、7 鉄骨工事による。	施工中等	
環境配慮改修工事	材料	各種工事	環境配慮工事にかかる各種材料を撮影する。	着工前	
	アスベスト含有建材の 除却及び 処理	除却	石綿含有吹付け材、石綿含有保温剤等の除却状況を撮影する。	施工中	
		保管、集積 状況	アスベスト含有建材の保管状況、集積状況を撮影する。	集積中 保管中	
		搬出状況	運搬車両の搬出業者名がわかるよう撮影し、飛散防止措置の状況を撮影する。	搬出時	
		廃棄状況	各処理施設への搬入状況を撮影する。	廃棄時	
	特殊な建設副産物の 処理	保管、集積 状況	保管状況(廃油等の保管は適切な容器による保管状況)及び集積状況を撮影し、廃棄物処理法に基づく掲示板の設置状況を撮影する。	集積中 保管中	
		搬出状況	運搬車両の搬出業者名がわかるよう撮影し、飛散防止措置の状況を撮影する。	搬出時	
		廃棄状況	各処理施設への搬入状況を撮影する。	廃棄時	
断熱アスファルト防水改修工事	施工状況	工程ごとに施工したか判断できるよう、各工程ごとに完了後の全景を撮影する。	施工中		

外断熱改修 工事	施工状況	各工程ごとに完了後の全景を撮影する。	施工中	
ガラス改修 工事	施工状況	各工程ごとに完了後の全景を撮影する。	施工中	
断熱。防露 改修工事	施工状況	各工程ごとに完了後の全景を撮影する。	施工中	
透水性アス ファルト舗 装改修工事	施工状況	各工程ごとに完了後の全景を撮影する。	施工中	
その他		別表(2)建築工事 10 防水工事、17 建具工事、19 内装工事、22 舗装工事、23 植栽工事及による。	施工中等	

工事記録撮影基準 別表(2)

解体工事

工種	撮影項目	撮影対象	要領及び注意事項	撮影時期
25 解体工事 共通事項	解体前の 状況	敷地の 状況	解体前の現況を各方向から撮影する。(敷地、周辺施設、解体施設、地中埋設物の状況) 完成写真との対比を意識した構図で撮影する。 全体が分かりにくい場合は、高所からの俯瞰撮影、遠景による撮影を考慮する。	着工前
		施工数量 調査	施工数量の調査状況を撮影する。	調査中
	その他	法令等に基づく 測定等	(必要に応じ)測定機器を撮影する。	設置時
			(必要に応じ)測定等の状況を撮影する。	測定時
仮設工事	騒音、 粉じん等 対策	仮設状況	養生の状況、散水設備、仮囲いの設置状況を撮影する。	施行中
	山止め等	施工状況	工事記録撮影基準別表(2)建築工事3土工事による。	搬入時 施工中等
解体工事	解体機材	重機機器	解体に使用する低騒音、低振動重機、機器の確認状況を撮影する。	着工前
	建築設備	施工状況	工事記録撮影基準別表(3)電気設備工事1共通工事、 工事記録撮影基準別表(4)機械設備工事1共通工事 の除却工事等による。	施工中
		分別状況	種類ごとの分別状況を撮影する。	保管中
	内装材	施工状況	種類ごとの解体状況を撮影する	施工中
		分別状況	種類ごとの分別状況を撮影する。	保管中
	外装材	施工状況	種類ごとの解体状況を撮影する	施工中
		分別状況	種類ごとの分別状況を撮影する。	保管中
	屋根葺材等	施工状況	種類ごとの解体状況を撮影する	施工中
		分別状況	種類ごとの分別状況を撮影する。	保管中
	躯体	上部解体 状況	解体状況を撮影する。また、安全性の確保に必要な措置を講ずる場合は災害防止措置を撮影する。	施工中
		地下解体 状況	解体状況を撮影する。また、安全性の確保に必要な措置を講ずる場合は災害防止措置を撮影する。	施工中
		分別状況	種類ごとの分別状況を撮影する。	保管中
		埋戻し 状況	埋戻し状況を撮影する。	施工中
	基礎及び杭	基礎解体 状況	解体状況を撮影する。また、安全性の確保に必要な措置を講ずる場合は災害防止措置を撮影する。	施工中
		杭解体 状況	杭の解体工法別に施工状況を撮影する。	施工中
		残置物の 確認状況	残置物が確認された場合は、残置物の確認状況を撮影する。	施工中
分別状況		種類ごとの分別状況を撮影する。	保管中	

		基礎解体後の埋戻し状況	埋戻し状況を撮影する。	施工中	
		杭撤去後の埋戻し状況	埋戻し状況を撮影する。	施工中	
	構内舗装等	解体状況	解体状況を撮影する。樹木等がある場合は、伐採抜根及び移植状況を撮影する。	施工中	
		分別状況	種類ごとの分別状況を撮影する。	保管中	
		残置物の確認状況	残置物が確認された場合は、残置物の確認状況を撮影する。	施工中	
		埋戻し状況	埋戻し状況を撮影する。	施工中	
	地下埋設物及び埋設配管	解体状況	解体状況を撮影する。また、安全性の確保に必要な措置を講ずる場合は災害防止措置を撮影する。	施工中	
		分別状況	種類ごとの分別状況を撮影する。	保管中	
		残置物の確認状況	残置物が確認された場合は、残置物の確認状況を撮影する。	施工中	
		埋戻し状況	埋戻し状況を撮影する。	施工中	
	解体後の整地	埋戻し地均しの状況	埋戻し、地均し及び盛り土(段階的な埋戻し)の状況を撮影する。	施工中	
			埋戻し、地均し及び盛り土の状況を撮影する。	完了後	
建設廃棄物	建設廃棄物の処理	分別状況	「産業廃棄物保管基準」に基づく分別保管を撮影する。	保管中	
		搬出状況	運搬車両の搬出業者名がわかるよう撮影する。	搬出時	
		廃棄状況	管理型最終処分場、埋立処分、中間処理施設等への搬出先において処分状況を撮影する。	廃棄時	
特別管理産業廃棄物	特別管理産業廃棄物の処理	保管、集積状況	「特別管理産業廃棄物保管基準」に基づいた種類の表示、雨水のかからない保管状況を撮影する。	集積中 保管中	
		搬出状況	運搬車両の搬出業者名がわかるよう撮影し、飛散防止措置の状況を撮影する。	搬出時	
		廃棄状況	各処理施設への搬入状況を撮影する。	廃棄時	
アスベスト含有建材	アスベスト含有建材の除却及び処理	除却	石綿含有吹付け材、石綿含有保温剤等の除却状況を撮影する。	施工中	
		保管、集積状況	アスベスト含有建材の保管状況、集積状況を撮影する。	集積中 保管中	
		搬出状況	運搬車両の搬出業者名がわかるよう撮影し、飛散防止措置の状況を撮影する。	搬出時	
		廃棄状況	各処理施設への搬入状況を撮影する。	廃棄時	
特殊な建設副産物	特殊な建設副産物の処理	保管、集積状況	保管状況(廃油等の保管は適切な容器による保管状況)及び集積状況を撮影し、廃棄物処理法に基づく掲示板の設置状況を撮影する。	集積中 保管中	
		搬出状況	運搬車両の搬出業者名がわかるよう撮影し、飛散防止措置の状況を撮影する。	搬出時	
		廃棄状況	各処理施設への搬入状況を撮影する。	廃棄時	

完成写真撮影基準 別表(3) 建築工事

区 分	撮 影 対 象	要 領 及 び 注 意 事 項
1	建築物外部	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 建物外部 4 面及び屋上その他付帯施設一式</li> </ul>
	建築物内部	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 主要各室は原則として室内全景を撮るものとし、極力1～3枚程度の写真で必要箇所の撮影が可能となるように、撮影方向・方法を工夫する。</li> <li>• 主要各室で同一のもの(例えば学校の普通教室)が多数ある場合は、代表的な室を撮影する。</li> </ul>
	舗装排水・植栽擁壁 ・塀屋外付帯作工物 ・砂利敷縁石 ・境界石	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全景または代表的部分の写真。</li> <li>• 極力、全景を見通せる位置で撮影し、2方向の写真で全体を撮ることが出来るように、撮影方向・撮影高さ等を工夫する。</li> </ul>

## 別図 小黑板作成要領

### 1 小黑板のイメージ

工事名			
工 事 項 目		撮 影 対 象	
撮 影 月 日			
寸			
法			

### 2 小黑板記入項目及び記入例

- 工事名           ・・・「〇〇〇〇工事」
- 工事項目       ・・・「鉄筋工事（配筋検査）」  
                  （撮影目的となる施工状況や検査等の内容を要約して記載）
- 撮影対象       ・・・「2階A通り梁（G21）」  
                  （設計図書に表示された内容・形式で記載）
- 撮影年月日     ・・・「〇年〇月〇日」
- 寸法            ・・・「設計 400×800 手巾 4-D25 あばら筋 D10-200@」  
                  （撮影対象の設計寸法等記載、但し、略図添付でも可）
- ・・・「でき形 401×802」  
                  （でき形に係る寸法等記載、出来形監理記録を整備する場合は省略可）
- ・・・「立会者 監督員〇〇〇〇」  
                  （発注者側管理者（監理委託者含む）及び社内検査員が立会う場合に記載）

### 3 小黑板情報の電子的記入を行う場合

デジタル工事写真に小黑板情報の電子的記入を行う場合は、上記小黑板の書式、記入項目、記入例を基本とし、使用するソフトウェアによる対応が難しい場合は、監督員との協議の上、変更を行うことができる。ただし、記入項目の省略は不可とする。

## 別添 デジタル工事写真の小黑板情報電子化について

デジタル工事写真の小黑板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黑板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

本工事でデジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の小黑板情報電子化対象工事（以降、「対象工事」と称する）とすることができる。

対象工事では、以下の1. から4. の全てを実施することとする。

### 1. 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黑板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以降、「使用機器」と称する）については、営繕工事記録写真撮影要領の別図小黑板作成要領に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。

なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」（URL

「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載している技術を使用していること。

また、受注者は監督員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。なお、使用機器の事例として、URL

「<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>」記載の「デジタル工事写真の小黑板情報電子化対応ソフトウェア」を参照されたい。

ただし、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。

### 2. デジタル工事写真における小黑板情報の電子的記入

受注者は、1. の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黑板情報を電子画像として同時に記録してもよい。

小黑板情報の電子的記入を行う項目は、別図 小黑板作成要領による。

ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

### 3. 小黑板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、営繕工事記録写真撮影要領による。

### 4. 小黑板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、2. に示す小黑板情報の電子的記入を行った写真（以下、「小黑板情報電子化写真」と称する。）を、工事完成時に監督員へ納品するものとする。

納品時に、受注者は URL（<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>）のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黑板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督員へ提出するものとする。

なお、提出された信憑性確認の結果を、監督員が確認することがある。